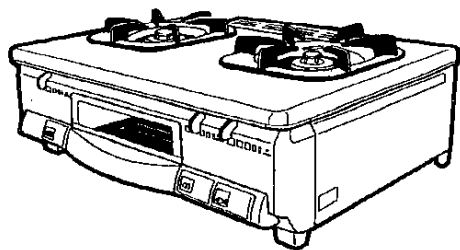
ガステーブルコンロ
取扱説明書

10-990型・10-991型

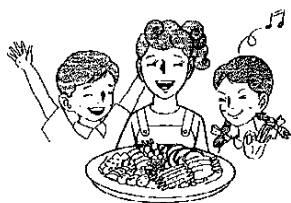
形式名 GC-V80L・GC-V80R

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお買上げいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

大阪ガス

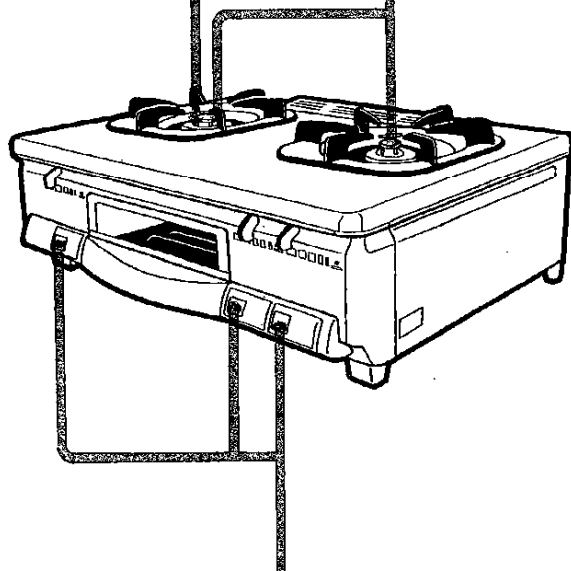
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買上げの販売店または大阪ガス支社にお問い合わせください。

特長

強火バーナーは右側と左側の器具があります。
この説明書は強火バーナー左側の器具(10-990)型で説明しています。

強火バーナー

標準バーナーにくらべ約2倍に火力をアップしています。(13Aの場合)

バーナーキャップ

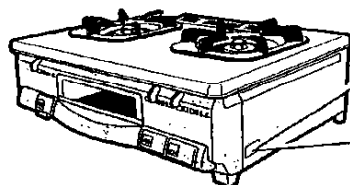
カバー付バーナーキャップですのでガス台への煮こぼれの侵入を防ぎます。

ウインクピクトサイン

点火、消火はワンプッシュ。
使用状態がひと目でわかるウインクピクトサインを内蔵しました。

特に注意していただきたいこと

使用ガスについて

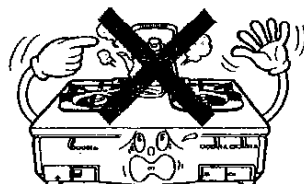
銘板に表示のガスで使用してください

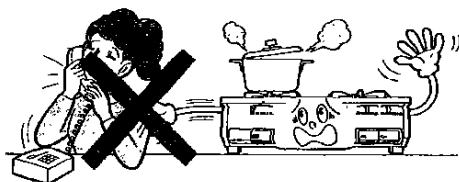
ガスの種類については、ガス供給業者へ確認してください。

LPガス用

都市ガス用 ○ ガスグループ
4A.4B.4C
5A.5AN.5B.5C
6A.6B.6C.7C
12A.13A

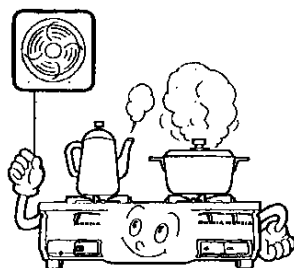
火災予防のために

近くに燃えやすいものを置かない

グリル排気口をおおわない

火をつけたまま使用場所を離れない

特に天ぷらをしているときは火災の原因になります。

換気について

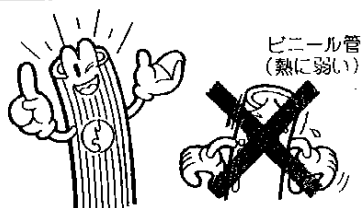
十分に換気を

器具使用中は、換気扇を回すか窓を開けるなどして換気してください。

ご使用まえに

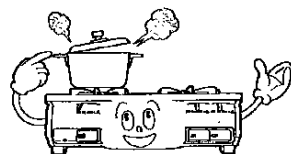
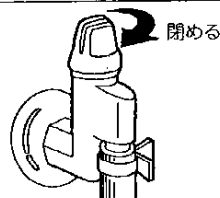
特に注意していただきたいこと

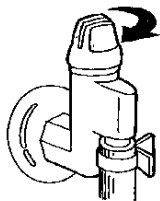
ガス事故防止のために

ガス用ゴム管は検査合格品を

検査合格またはJISマークの入っているものを使用してください。

ガス用ゴム管の点検を

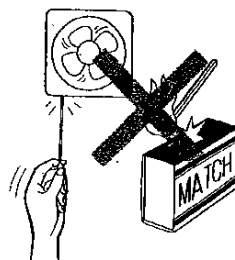
ひび割れたり、弾力のなくなったものは交換してください。

点火・燃焼・使用後の消火の確認を

お出かけやおやすみのときにはガス元栓を閉める

ガス漏れに気づいたときは

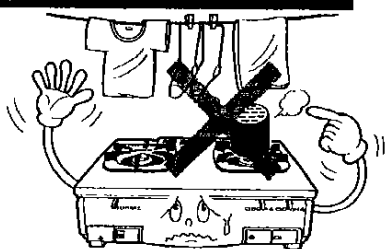
1 ガス元栓を閉める

2 窓や戸を全部開ける

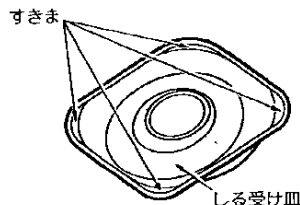
3 お買上げの販売店か大阪ガスへ…

ガス漏れしたときは火をつけない

換気扇、照明器具の「入・切」やマッチ、ライターの使用は、絶対にしないでください。爆発のおそれがあります。

使用上のご注意

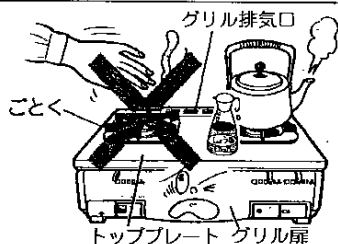
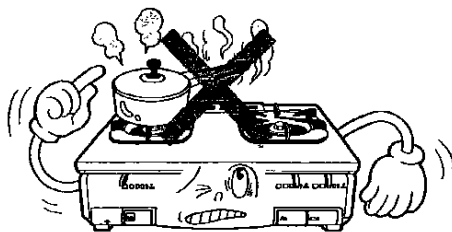
調理以外には使用しない

故障や火災の原因になります。

附属品以外の補助具は使用しない

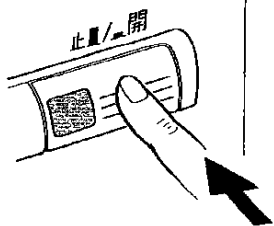
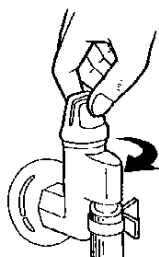
- こんろの上での魚焼き、鉄板焼き等はしないでください。
- しる受け皿の四隅にあるすきまは燃焼に必要な空気を取り入れるためのものです。アルミ製しる受け(アルミマット)等は使用しないでください。

使用中、使用直後はやけどに注意

トッププレート、ごとく、グリル排気口、グリル扉は熱くなっていますので器具の上にものを置いたりさわったりしないでください。特に魚を裏返すとき、取り出すときにグリル扉に手を触れないよう注意してください。

なべのとって方向に注意

ご使用まえに

異常時の処置

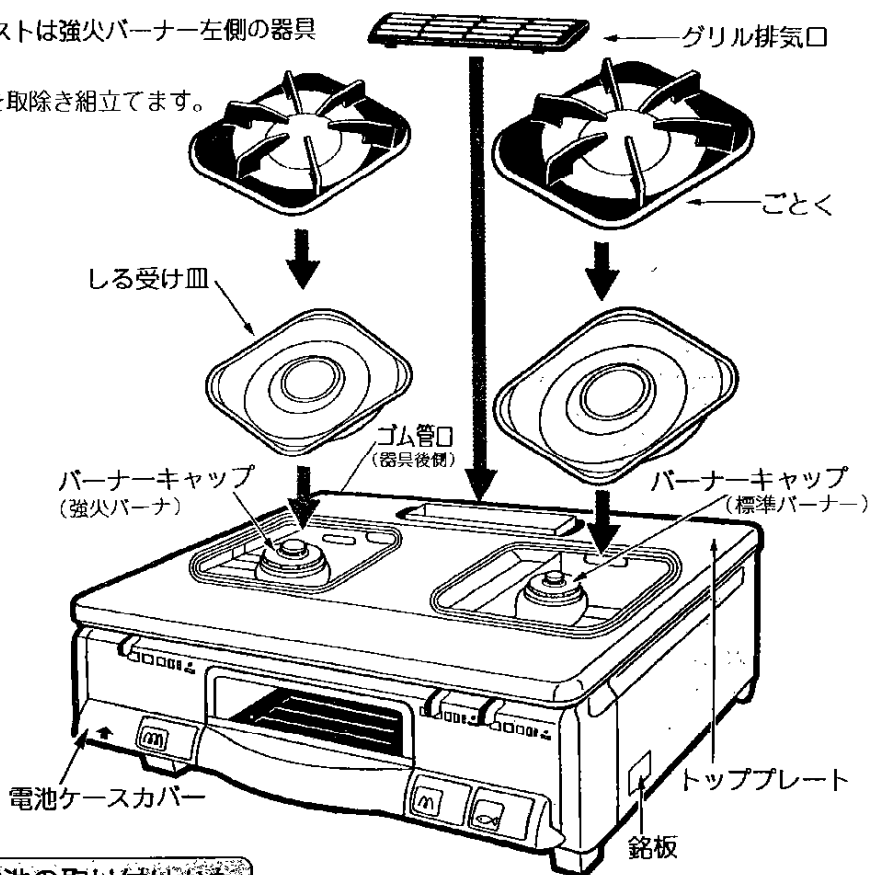
異常燃焼、臭気、異常音がしたとき、あるいは緊急の場合は

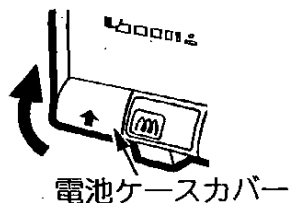
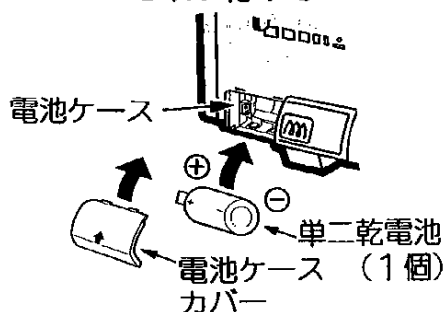
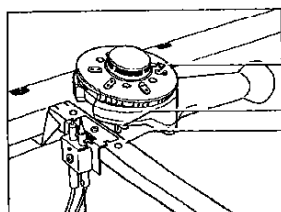
1 消火

2 ガス元栓を閉める

3 お買上げの販売店か大阪ガスへ…

器具の組立てと設置

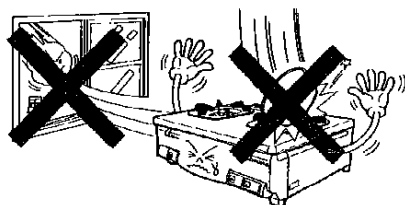
組立てかた

（イラストは強火バーナー左側の器具です。）
包装を取除き組立てます。

グリル排気口
ごとく
しる受け皿
ゴム管口（器具後側）
バーナーキャップ（強火バーナ）
バーナーキャップ（標準バーナー）
トッププレート
電池ケースカバー
銘板

乾電池の取り付けかた

1．電池ケースカバーをはずす

2．乾電池を取り付けて電池ケースカバーを取り付ける

バーナーの確認

設置場所について

- 安定した落下物のないところ
- 風の吹込まないところ
- 壁側に強火バーナー側を設置しないでください。

（止むを得ず設置される場合は側面専用防熱板を必ず取り付けてください。）

周囲の防火措置について

設置場所の周辺に可燃物（木製の壁・たななど）のある場合（図１）

器具の側面および背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離した場所でお使いください。可燃性の壁にステンレス板などを取り付けてご使用になる場合も同様です。また器具の上方の天井、吊りとだななど可燃性の部分との間は100cm以上離してください。防火構造の場合はその限りではありません。

図１の条件を満たせない場合は防熱板を取り付けてください。（図２、図３、図４）

別売防熱板（コードNo.15-100-0077-0078）

- 調理台・流し台の上面が可燃性で、器具のトッププレートとほぼ同じ高さの場合（図３）
  別売防熱板（コードNo.15-100-0105）
- 調理台・流し台の側面が可燃性で、器具のトッププレートより高い場合（図４）
  別売防熱板（No.15-100-0084-0085）
  防熱板は別売部品として用意しています。
- お買上げの販売店または大阪ガス支社・サービスショップでお求めください。

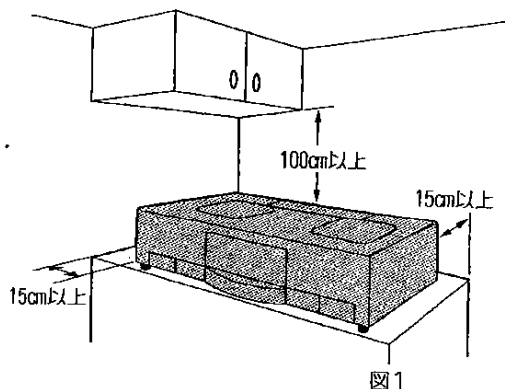



図１

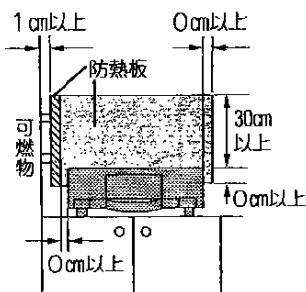



図2

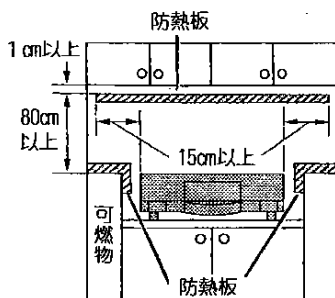



図3

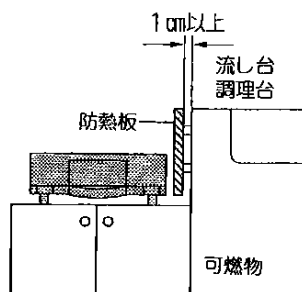



図4

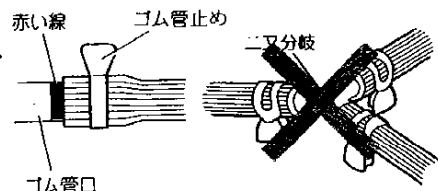
器具の組立てと設置

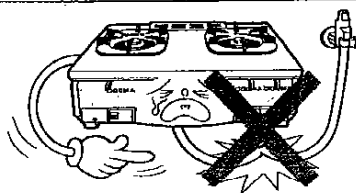
ガスの接続について

ゴム管で接続する場合と、ガスコードで接続する場合があります。

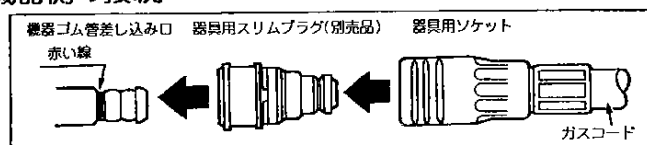
ゴム管接続の場合

ガス用ゴム管を赤い線まで差し込む

- ガス用ゴム管を赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。つぎたしや、二又分岐はしないでください。
- ゴム管止めはお買上げの販売店または大阪ガス支社・サービスショップでお求めください。

ガス用ゴム管は短く

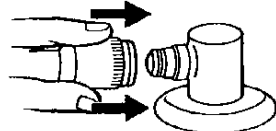
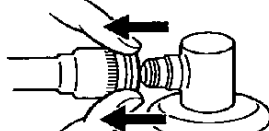
- 2m以下で、折れ、ねじれ、ひっぱりのないように配管する。
- 器具の下を通したり触れたりしない。

ガスコード接続の場合 （ガスコードは13A専用です。）

- ガスコード接続をする場合は、ガス元栓側がカチットプラグになっていないと接続できません。従来のガス元栓で使用する場合は、別売のホースコック用プラグが必要です。

1．ガス機器側の接続

上図のように、先ず別売の器具用プラグを器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のゴム管差し込み口に取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用プラグに“カチッ”と音がするまで押し込みます。

※ガスコードは必ずガステーブルコンロ用をお使いください。

※ガスコードの長さは2m以下にしてください。

2．ガス元栓側の接続 （ガス元栓がガステーブルコンロ用であることを確認してください。）

❶ガス栓を開ける時は

コンセント継手を「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

❷ガス栓を閉める時は

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引きます。コンセント継手がはずれると、ガス栓は閉まります。

別売部品について （もよりの大阪ガスショップ、または大阪ガス支社でお求めください。）

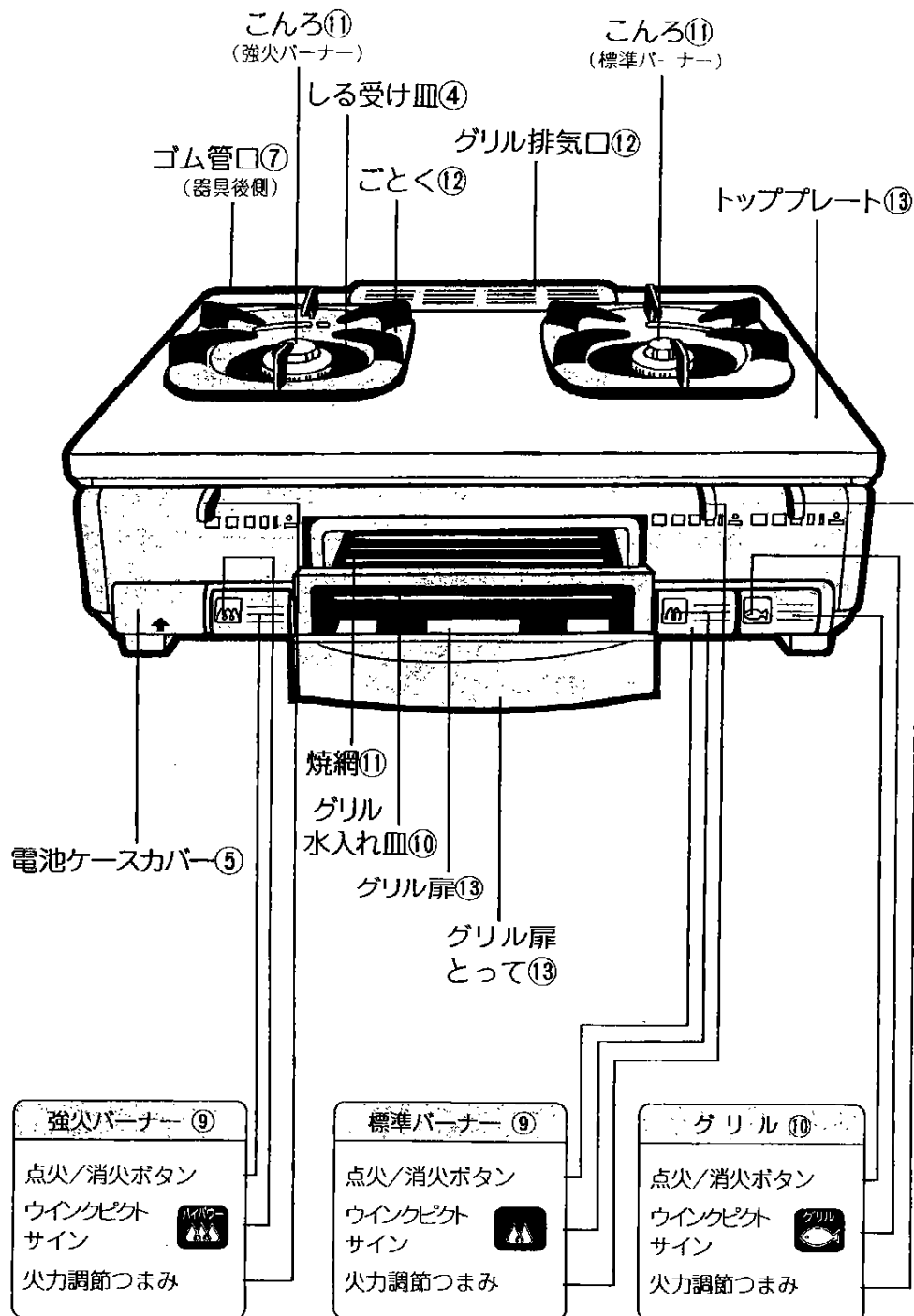
- ホースコック用プラグ　81-450
- 器具用スリムプラグ　81-359
- ガステーブルコンロ用ガスコード（右図参照）

ガスコードの品番

長さ＼タイプ	S型	L型
0.7m	80-480	80-580
1.0m	80-481	80-581
2.0m	80-482	80-582

各部のなまえ

○内の数字は説明しているページを示しています。

※イラストは、10-990型(強火バーナー:左タイプ)の場合です。10-991型(強火バーナー:右タイプ)はこんろのバーナーやつまみの配置が逆になります。

使いかた

使いかた

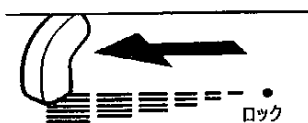
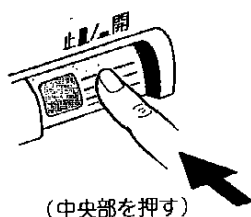
点火・消火のしかた(こんろ・グリル)

ロック
解　除

使うまえに解除

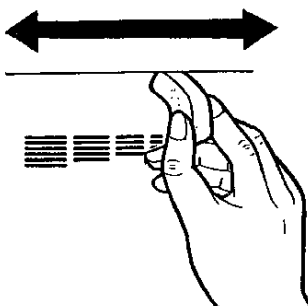
---

1 点火

(中央部を押す)

奥まで押し「開▲」に

(安全のため半押しでは点火しません)
- こんろとグリルが同時に放電します。
- ウインクピクトサインが「赤」になります。
- バーナーへ点火したことを確かめ数秒間押してください。

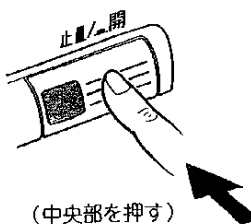
---

2 火力調節

炎を見ながらゆっくりと

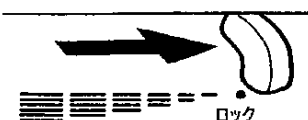
強火………左側
弱火………右側

---

3 消火

(中央部を押す)

奥まで押し「止▲」に

- ウインクピクトサインが「青」になります。
- 使用後は必ずガス元栓を閉める。
- 消火時ポンと音がすることがありますが故障ではありません。

ロック

使用後はロック

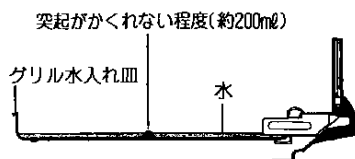
- ロックに合わすと、点火/消火ボタンを押しても点火しません。
(チャイルドロック)

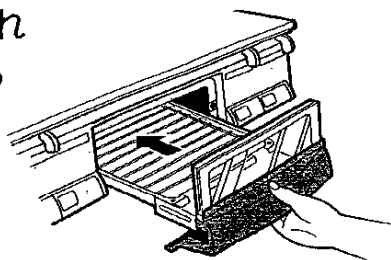
グリルを使うとき

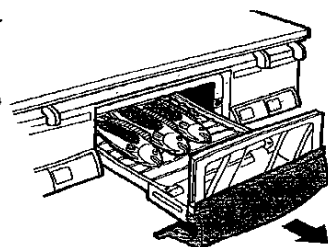
●空焼きを

初めてお使いのときは、グリル水入れ皿に水を入れ
約15分間空焼きを
（グリル庫内の油を焼ききるため）

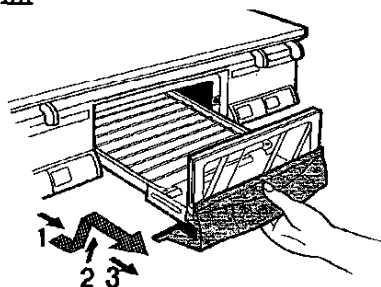
このとき煙が出ますが異常ではありません。

1 水を入れる

- 水を入れないで使いますと、床面が過熱したり魚などから出た脂に引火することがあります。
- アイデア商品として市販されている沸石(粒状の石)等を水のかわりに入れて使用しますと、器具の焼損や火災のおそれがありますので絶対に使用しないでください。

2 グリル水入れ皿を入れる

奥まで押す

3 裏返すとき 焼き上がったとき

ゆっくりと取り出す

グリル扉が熱くなっていますので手を触れないように注意してください。

●グリル水入れ皿 取り出し 取り付け

取り出し

1. とまる所まで引く。
2. 少し持ち上げる。
3. そのまま引き出す。

水がこぼれないように注意してください。

取り付け

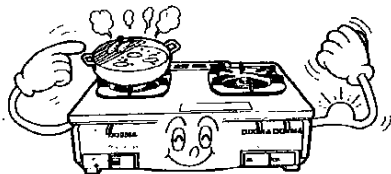
取り出しと逆の方法で取り付けてください。

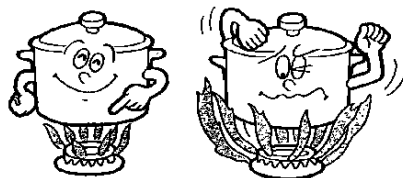
使いかた

上手な使いかた

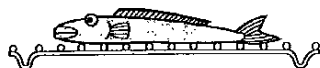
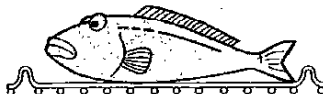
こんろ

炒め物はハイパワーで

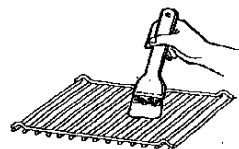
ハイパワーバーナーは火力が強いので、炒め物、揚げ物などに適しています。

なべに合った火力で

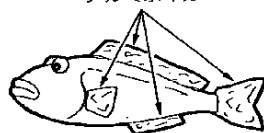
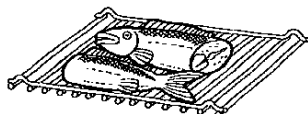
炎の先端がなべ底に当たる程度に火力を調節してください。

グリル

焼網の使い分けを

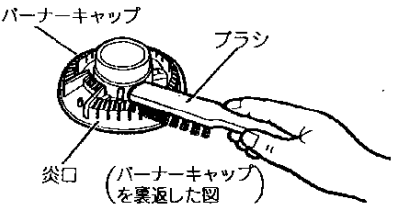
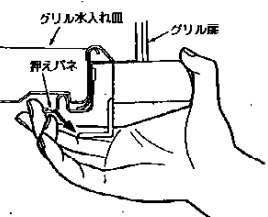
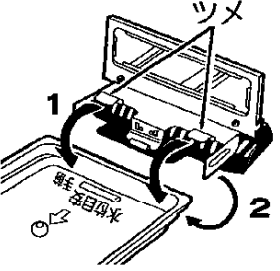
焼物の大きさ、厚さにより焼網は裏返して使えます。

焼くまえに予熱を

2～3分間予熱をしたあと、焼物を入れますときれいに焼き上がります。

予熱後、焼網に油を塗れば魚がくっつきにくくなります。

こげやすい部分はアルミホイルで

アルミホイルか、厚目に塩を振りかけてください。

焼物は焼網の大きさに合わせて

点検・手入れ

●快適で安全にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行ってください。
●点検・手入れのまえには必ずガス元栓を閉めて、器具が冷えてから行ってください。
●点検で異常を見つけたときは、お買上げの販売店または、大阪ガス支社に連絡してください。

点　検

点検するところ	点検のしかた
ゴム管は？	●ゴム管口、ガス元栓の赤い線まで差し込まれていますか？ ●ゴム管止めでしっかり固定されていますか？ ●ガスが漏れていませんか？ 接続部、ゴム管に石けん水をぬってガス漏れを調べてください。 ガスが漏れているとあわが立ちます。 石けん水　石けん水　ガス用ゴム管
器具のまわりは？	近くに紙、プラスチック、油など燃えやすい物が置かれていませんか？
部品の取り付けは？	トッププレート・バーナーボディ・バーナーキャップ・しる受け皿・ごとく・グリル排気口は正しく取り付けられていますか？ バーナーキャップ　バーナーボディ　浮き上がり　傾き
こんろは？	バーナー炎口は目づまりしていませんか？
グリルは？	グリル水入れ皿に脂がたまっていませんか？

手　入　れ

手入れするところ	手入れのしかた
器具表面、操作部	乾いた布でよくふいてください。 汚れのひどいときは、台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。 このあと、乾いた布で水気をふき取ってください。 ベンジン　ミガキ粉
焼網・グリル排気口 ごとく・しる受け皿 グリル水入れ皿	スポンジタワシに台所用中性洗剤を含ませ、汚れを落してください。 そのつど温いうちに手入れをすると汚れは簡単に落ちます。 ホーロー仕上げのものは、固い物にあてると傷が付く場合があります。

点検・手入れ

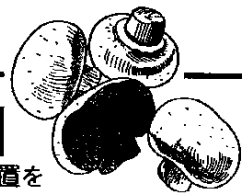
点検・手入れ

手入れ

手入れをするところ	手入れのしかた
こんろバーナー	水洗いするか、ブラシなどで掃除してください。 水洗いしたときは、水気をよく切ってバーナーキャップの浮き傾きのないよう正しく取り付けて、正常に燃焼することを確認してください。 バーナーキャップ　ブラシ　炎口　（バーナーキャップを裏返した図）
グリル扉	毎回スポンジタワシや布などのやわらかいもので、台所用中性洗剤や水を含ませて、ふき取ってください。 ミガキ粉･金属タワシは使用しないでください。 特にガラスは傷が付くと割れやすくなります。 グリル扉はグリル水入れ皿より取りはずして手入れができます。 グリル水入れ皿　グリル扉　押えバネ
取りはずし	グリル水入れ皿を支え、押えバネを矢印の方向に引くとはずれます。
取り付け	**1**．グリル扉のツメ（２ヵ所）をグリル水入れ皿の手前内側にはめこむ。 **2**．グリル扉の下部を回転さすようにグリル水入れ皿側に、〝カチッ〟と音がするまで押し込む。 グリル扉が確実にグリル水入れ皿に取り付いていることを確認してください。 ツメ　1　2　水位目安
トッププレート	毎回スポンジタワシや布などのやわらかいもので、台所用中性洗剤や水を含ませて、ふき取ってください。 ミガキ粉や金属タワシを使用すると表面のツヤがなくなります。

長期間使用しない場合

1．各部の汚れを取り除いてください。
2．乾電池を取りはずしてください。
3．ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
4．お買上げになったときの箱に入れてください。
5．湿気やほこりの少ないところに保管してください。

故障かな!?

次のことを調べてください

使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行い、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買上げの販売店または、大阪ガス支社に連絡してください。

こんなとき（現象）／お調べいただくこと（原因）	点火／消火ボタンが動かない	点火しない・点火しにくい	点火時手を離すと消える	炎が安定しない・黄炎で燃える	異常音をたてて燃える	ガスの臭いがする	使用中炎が消える	グリルの焼き時間が長い	処置方法	参照ページ
ロックがかかっている	●								ロックを解除	9
乾電池が消耗していたり、取り付けが不完全		●							新品と交換するか正しく取り付ける	5・14
押し方不足			●						消火状態にした後再び点火／消火ボタンを奥まで押す	9
ガス元栓開き不十分		●	●		●			●	ガス元栓を全開にする	—
ゴム管の中に空気が残っている		●							点火操作を繰り返す	9
点火プラグ汚れ		●							点火プラグを掃除する	15
炎検出部の汚れ・水ぬれ			●				●		炎検出部を掃除する	15
ゴム管が折れている		●						●	ゴム管の折れを直す	7
バーナーの炎口の目づまり		●	●	●	●	●	●		バーナー炎口を掃除する	13
バーナーの取り付けが悪い		●	●	●	●				バーナーを正しく取り付ける	5・12
ゴム管のひび割れ、穴あき						●			新しいゴム管と交換する	—
ゴム管の接続不完全						●			ゴム管の接続を確実にする	7

乾電池について

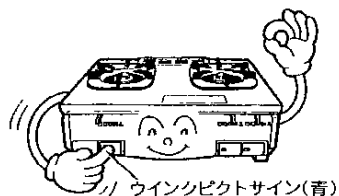
- 点火するときの「パチ、パチ」音が、遅く（1秒間に1回位）なったら、新しい乾電池をお買求めの上、交換してください。
- 電池の極性（プラス＋、マイナス－）を確めて、器具の表示どおりに正しく入れてください。
- 附属の乾電池は、工場出荷時に納められたもので、寿命が短かくなっている場合があります。
- 万一、漏れた電解液が皮膚に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。また、器具についた電解液は十分にふき取ってください。

故障かな!?

風や煮こぼれで炎が消えたとき

消えたとき

●消火に気がついたときは、すぐに点火／消火ボタンを奥まで押して「止▲」にしてください。

立消え安全装置が働いて自動的にガスは止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。

再使用のとき

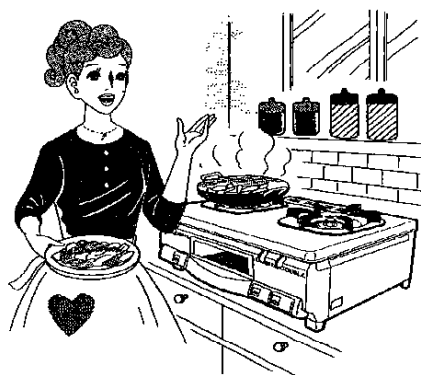
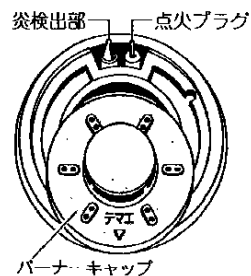
1．周囲に生ガスがなくなるまでまつ。
2．点火をする。

使用上の注意

●炎検出部を汚さないで
立消え安全装置の炎検出部やバーナーキャップに水滴や煮こぼれが付くと、点火しにくくなったり、消火することがあります。

なべ底の水気はふき取ってから、ごとくの上にのせてください。

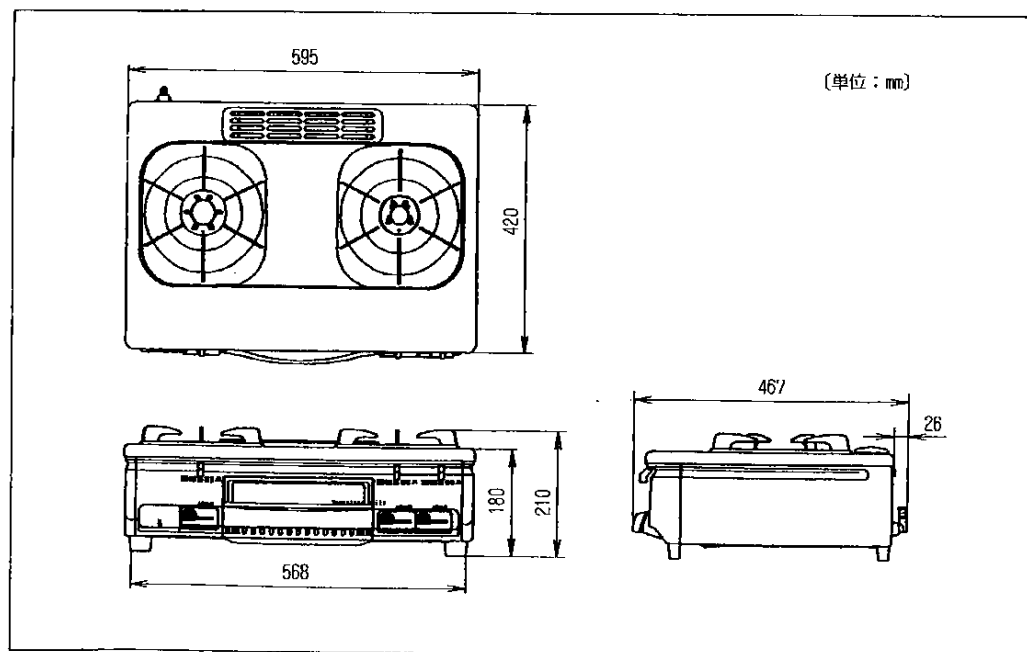
●炎検出部に固い物をぶつけないで

炎検出部や点火プラグ取付位置が変ると点火しにくくなります。

仕様と外形寸法図

仕様

品番	10-990		10-991	
型式の呼び	GC-V80L		GC V80R	
使用ガス 使用ガスグループ	LP(kg/h)	13A(kcal/h)	LP(kg/h)	13A(kcal/h)
1時間当りのガス消費量 個々のガス消費量 標準バーナー	0.176	2,150	0.176	2,150
1時間当りのガス消費量 個々のガス消費量 強火バーナー	0.305	4,600	0.305	4,600
1時間当りのガス消費量 個々のガス消費量 グリル	0.15	1,800	0.15	1,800
1時間当りのガス消費量 全ガス消費量	0.62	8,300	0.62	8,300
品名（種類）	ガステーブル（グリル付二口こんろ）			
点火方式	連続放電点火式			
外形寸法	高さ 210mm(トッププレートまで 180mm)×幅 595mm×奥行 467mm			
重量（本体）	9.8kg			
ガス接続	φ9.5mm ガス用ゴム管			
安全装置	立消え安全装置			

本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

外形寸法図

故障かな!?

アフターサービスについて

アフターサービスのお申込み

サービスのお申込み

- 14ページの「故障かな!?」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

  (1)品名……ガステーブルコンロ　　(3)現象……(できるだけ詳しく)
  (2)品番……左側面に貼付してあります。　　(4)道順……(できるだけ詳しく)

(N)10-990(U)	(N)10-991(U)
大阪ガス株式会社 06	大阪ガス株式会社 05

転居される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要です。転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
  ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証と補修について

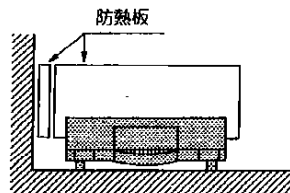
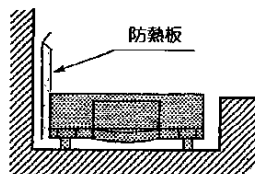
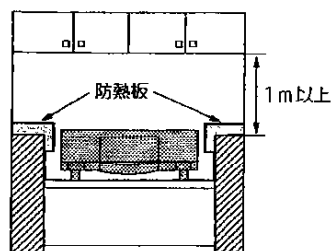
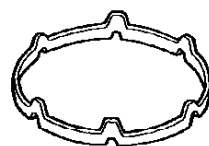
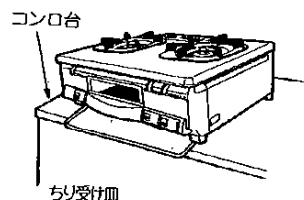
この器具には保証書がついています。

- 保証期間中は…………保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後は……お買上げの店もしくはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
  補修用性能部品を調達したうえ修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

別売部品のご紹介

つぎの様な別売部品を用意しています。
もよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガスでお求めください。

● **防熱板**（コードNo.15-100-0077・0078）
設置場所で、可燃性の壁（ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

● **側面専用防熱板**（コードNo.15-100-0112）
60cm幅のガス台に設置されている場合、器具本体に取り付けて使用します。

● **流し台、調理台専用防熱板**
（コードNo.15-100-0105）
調理台・流し台の上面が可燃性で、器具のトッププレートとほぼ同じ高さの場合

● **中華鍋用補助ごとく**
（コードNo.15-100-0059）
中華鍋を用いて料理されるとき、お使いください。

● **ちり受け皿**
（コードNo.15-100-0083）
図のように器具と台の間に設置してください。器具の下に落ちた煮こぼれは、ちり受け皿の上に落ちます。ときどきとり出して掃除していただくと、台を汚さずに使用できます。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪	06 (586) 3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺	0722 (38) 1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻	0726 (71) 0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内	0729 (62) 1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸	078 (360) 3100	〒650
京都支社	京都市下京区中堂寺栗田町1番地	電話 京都	075 (311) 7381	〒600
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良	0742 (44) 1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山	0734 (31) 2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-	電話 姫路	0792 (85) 2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡	0796 (23) 2221	〒668
滋賀支社	草津市追分町荒堀680-1	電話 草津	0775 (62) 5311	〒525
滋賀東支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根	0749 (22) 3131	〒522
(長浜営業センター)	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜	0749 (62) 7171	〒526
本社・ガスビルサービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪	06 (202) 2221	〒541

大阪ガス株式会社